

## ◎ 危機管理マニュアル（地震）

状 況	授業時間中、震度5弱の地震が発生した。
-----	---------------------

### 1 危機発生時の状況

#### 【 初期対応 】

##### ①避難等

○地震発生時の対応は、校舎内外の状況を的確に把握し、迅速かつ安全に行う。

役 校 長	全体の指揮，状況把握，連絡	事 務	火気点検，避難支援
教 頭	放送等による指示，避難支援	校 務	火気点検，避難支援
割 養 護	避難支援・救護	授 業 者	児童の安全確保・避難

○避難場所は、運動場を原則とするが、状況に応じてプール東側とする場合もある。

○校長は、下記の状況把握を行い児童の安全確保のための指示を出す。

- ・校舎の損壊等の把握（落下物の危険はないか）
- ・運動場側壁の状態（崖崩れの危険はないか）
- ・学校周辺の道路・家屋の損壊状態

○授業者は、訓練通り児童の安全確保に努める。（机の下への避難等）

○火気の使用中の場合はガスの元栓を閉め、電気器具等の使用中はコンセントを抜く。

○教頭は、揺れが止まった後、校内放送により避難指示をする。

「揺れが止まりました。先生の指示に従い運動場に避難しなさい。」

○避難指示を受けた教職員は、児童に対し、落ち着いて避難するように指示（**おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない**）し、運動場の安全な場所に避難する。

○校長から指示を受けた最終確認者は、残留者がいないことを確認し速やかに避難する。

##### ②通報

○校長は、教育委員会に通報し、合わせて必要な指示を受ける。

#### 【 避難後の対応 】

##### ①避難確認等

○教職員は、避難場所に移動後、人員確認をする。

○負傷者の有無を確認し、応急処置（養護教諭を中心に）をする。

○児童に避難場所で待機することを指示する。

##### ②報告

○児童の安全を確保後、市教育委員会へ状況報告をする。（指示により、県教育委員会へ）

##### ③関係機関との連携

○消防、警察等が到着した場合、その後の対応については指示に従う。

##### ④保護者への連絡

○児童の避難完了後（安全確保後）、愛育会本部役員・理事役員を通じて速やかに全保護者に連絡する（メール配信も）とともに、状況に応じて保護者への引き渡しについても連絡する。

○各家庭の状況も確認する。

### 2 地震終息後の対応（児童の安全確保を第一とする）

#### ①地域の避難場所として開放

○職員室・校長室を対策本部とする。

○体育館を開放し、状況に応じて（教委の指示のもと）特別教室・各教室を開放放する。

- 開放後は、教育委員会の指示を受け活動する。
- ②周辺家屋への支援
  - 学校周辺家屋について必要な支援をする。
- ③復旧及び措置要請
  - 状況に応じて危険箇所の立ち入り禁止措置を講じる。
  - 授業再開に向け状況に応じて、教室、学用品及び教職員の確保等について、市・県教育委員会に措置の要請をする。
- ④心のケア
  - 児童の精神状態を的確に把握し、必要に応じて精神科医やスクールカウンセラー等の専門家に依頼するなど連携を図りながら心のケアを行う。
  - 学校での対応が困難な場合、教育委員会を通じて専門家の派遣を依頼する。

### 3 事前対策

- ①安全指導（教育）
  - 防災教育は、安全教育の一環として継続的に実施し、学校教育活動全般を通じて計画的に行う。
  - 災害時に児童の安全を確保するうえで、教職員の防災教育に関する指導力、危機管理能力及び応急処置能力を高めるための校内研修を実施する。
  - 防災訓練については、様々な状況を想定した訓練を計画的に実施するように努める。
- ②安全管理
  - 安全点検の実実施計画（チェックリストを含む）を作成し、施設・設備の全般について定期点検を実施する。
- ③初動対応の周知徹底
  - 万一地震が発生した場合に備え、迅速な対応の仕方を心得ておく。連絡体制・役割分担は、全員が理解しておくとともに職員室に掲示し対応の確実性を確保する。

### 4 地震発生時避難経路・・・防災設備・避難経路参照

### 5 避難細案（大地震）

留 意 点	児 童
◎ 地震による震度5弱の地震発生	
< 第 一 次 避 難 >	
[授業者] ○ 避難経路の確保（ドアの開放） ○ 適切な指示 ○ 配慮を要する児童への対応 ○ 負傷者の確認 [本 部] ○ 避難の決定・指示（校長） ○ 火気確認（校務・事務） ○ 救急用具携帯（養護）	○ 頭部の保護、机の下へもぐる。 ○ 先生の指示にしたがう。
地震の終了と避難を通報する。 「揺れが止まりました。先生の指示に従い運動場に避難しなさい。」(教頭)	○ 余震も考慮に入れて、安全を確認しながら避難する。
< 第 二 次 避 難 >	
[授業者] ○ 避難前的人员確認 ○ 適切な指示 [本 部] ○ 教職員の連携による避難指導、負傷者の搬送 ○ 避難後人員確認（校長へ）	○ 頭部の保護、座布団等をのせる。 ○ 落ち着いて素早く移動する。 ○ <u>避難場所は運動場</u>